

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2000-254051(P2000-254051A)

【公開日】平成12年9月19日(2000.9.19)

【出願番号】特願平11-105684

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/04 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】外周に清掃体を挿入固定するための支持溝を長手方向に複数条設けるとともに長手方向の中心軸線の周りに振りを加えて該支持溝を螺旋状に形成したロータを備えた掃除機用床ノズルの回転ロータにおいて、前記ロータを中空金属管状体とし、外周の前記支持溝間に複数の波形部を形成したことを特徴とする掃除機用床ノズルの回転ロータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の目的を達成するため次の手段を採った。すなわち、外周に清掃体を挿入固定するための支持溝を長手方向に複数条設けるとともに長手方向の中心軸線の周りに振りを加えて該支持溝を螺旋状に形成したロータを備えた掃除機用床ノズルの回転ロータにおいて、前記ロータを中空金属管状体とし、外周の前記支持溝間に複数の波形部を形成したことを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

回転ロータ27を構成するロータ28はアルミニウムやその合金にて押し出し成形された中空の管状体である。ロータ28には清掃体29を支持するための支持溝35が複数条設けられており、隣り合う支持溝35間をつなぐ円弧には複数の波形部36を形成している。この波形部36をロータ28に設けたことによって、ロータ28の円周方向以外に加わる力に対して非常に強く、逆に円周方向に加わる力に対しては弱い構造となる。したがって中空パイプ状のロータに比べて比較的弱い力でロータ28を振ることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の掃除機用床ノズルは、ロータを中空金属管状体とし、外周の前記支持溝間に複数の波形部を形成したので、ロータが大径になっても軽量で非常に回転バランスの良い回転ロータを提供することができる。